



教科名： **ボデー電装Ⅱ**

2023年度

実習

一級自動車工学科・自動車整備科

時期： 1年 後期

科目： 自動車整備作業

時限数： 32時限

<改訂履歴>

改訂年度	改訂事由	発行日/担当	
FY18	シラバスメンテナンス	1/24	村上
FY19			
FY20			
FY21			
FY22			
FY23	シラバスメンテナンス	6/1	合田

教頭	課長	学年統括	教科担当	教科担当

一級自動車工学科・自動車整備科

2023年度

授業計画

時期	1年後期	単元	実習	教科名	ボデー電装Ⅱ	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	日産4級電装 3級シャシ		発行日	2018/1/24新規
※1 総時限	32時限		実習ノート(初回授業時配布)		教科担当	見谷 哲
※2 授業時間	51.2時間					※2 ● ■ ※2 ● ■

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1905.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間1850時間（50分ベース））

1. 指導教員の実務経験 該当 非該当

自動車整備士としてボデー電装作業の実務経験がある教員により配線図集の使用方法、照明装置、信号装置の点検ができるように指導する。また車両を用いて簡単な故障診断ができるように指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①配線図集の使い方の修得する。
- ②ぎ装図を見て実車で理解し習得する。
- ③車両を用いて照明装置、信号装置の点検が出来るよう理解し習得する。
- ④車両を用いて簡単な故障診断が出来るよう理解し習得する。
- ⑤計器装置の構造、作動を理解する。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①配線図画読めるよう習熟する。
- ②配線図を見て実車で測定できるように習熟する。
- ③灯火装置、信号装置の構造と作動を説明できる。
- ④実車で簡単な回路の故障診断が出来るよう習熟する。
- ⑤各計器の構造と作動を理解し説明できる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習の評価は、レポート提出後に試験を行い、60点以上（工学科は70点以上）を合格とする

試験内容

実技試験 70%

- ①車両を使用しての故障探究

筆記試験 30%

- ①灯火、信号装置の理解
- ②回路図の配線色についての理解

5. 準備学習

- ①日産4級電装テキストの配線図集の使用方法、照明装置、信号装置の点検また、車両を用いて簡単な故障診断ができるようあらかじめ読んでおく。
- ②授業終了後、教員から指示された教科書、実習ノートの項目について復習を行うこと。

※注1 総時限の1時限は、80分/1時限を表し、授業時間の1時間は、50分/1時間を表す

※注2 ●⇒実務経験がある教員 ■⇒日産資格保持者

6. 指導目標

- ①回路図を使い、実車で測定及び故障診断が出来るよう理解させる。
- ②ぎ装図を使用し車両ハーネスの取り回しや、コネクタの位置が理解させる。
- ③灯火装置、信号装置の構造と作動を理解させる。
- ④故障現象から原因の絞り込みをすることの大切さを意識させ、理解させる。

一級自動車工学科・自動車整備科

2023年度

授業計画

時期	後期	単元	実習	教科名	ボデー電装Ⅱ
----	----	----	----	-----	--------

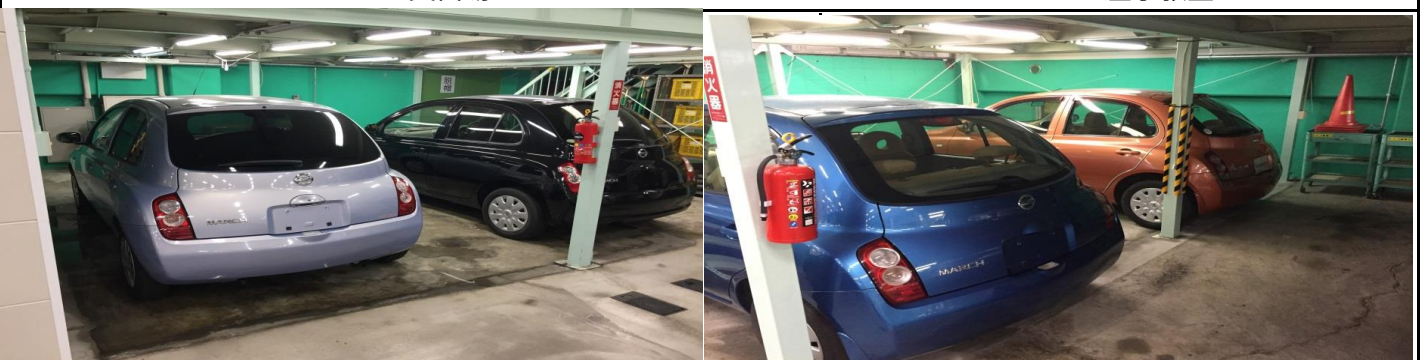
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	フェンダーカバー、4点セットの取り付け、取り外しの厳守	お客様の車に傷をつけないこと。		
2	エンジン始動時の声かけ	班員の返事がないときは始動しない。	指をベルトに巻き込んだりしないように全員で気をつける。	
3	車両実習はペアで必ず行動すること。	安全のため、一人で行動しないこと。		

8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場

座学教室



- ①P11プリメーラ4台使用
- ②実習車両1台あたり4～5名(5グループ)で実習を行う。